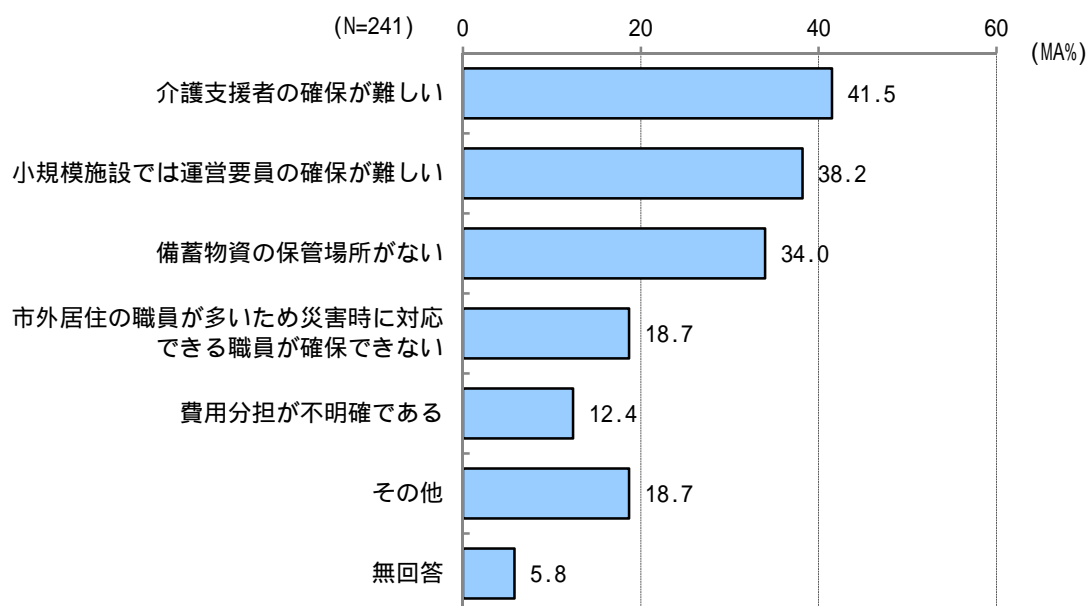


## 問16 (2) 協定締結していない理由

### (2) 協定締結していない理由について

【図16(2) 協定締結していない理由】



【表16(2)-a 協定締結していない理由（施設別）】

	N	介護支援者の確保が難しい	小規模施設では運営要員の確保が難しい	備蓄物資の保管場所がない	市外居住の職員が多いため災害時に対応できる職員が確保できない	費用分担が不明確である	その他	無回答
特別養護老人ホーム	21	47.6	9.5	38.1	19.0	9.5	33.3	14.3
地域密着型特別養護老人ホーム	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
介護老人保健施設	28	46.4	21.4	42.9	32.1	7.1	21.4	3.6
介護療養型医療施設	6	66.7	33.3	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0
養護老人ホーム	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
軽費老人ホーム	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活支援ハウス	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
認知症高齢者グループホーム	69	36.2	59.4	36.2	18.8	11.6	10.1	7.2
有料老人ホーム	113	41.6	36.3	30.1	16.8	15.0	18.6	4.4
サービス付き高齢者向け住宅	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

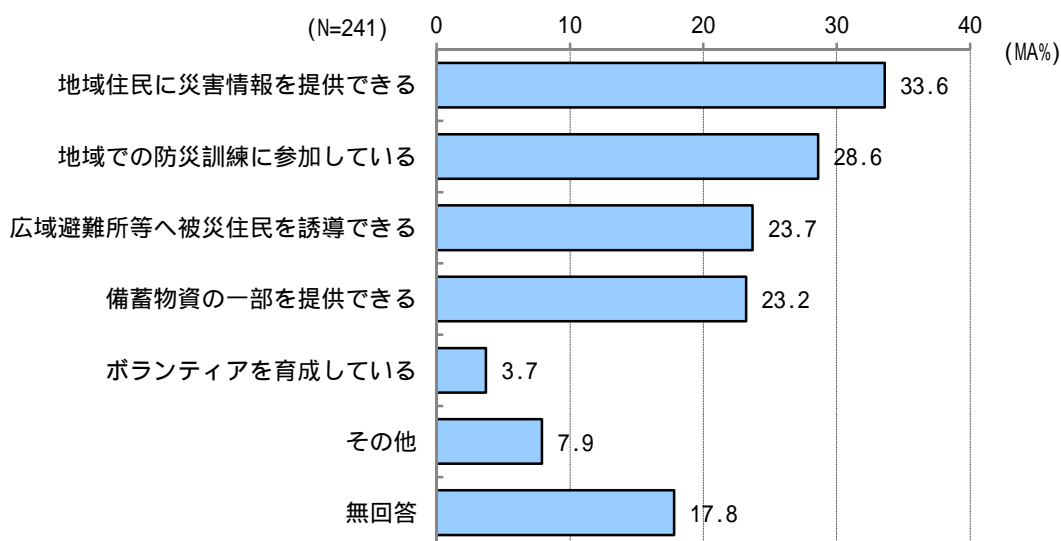
全体では、「介護支援者の確保が難しい」が41.5%と最も高く、次いで「小規模施設では運営要員の確保が難しい」が38.2%となっている。(図16(2))

施設別でみると、認知症高齢者グループホームでは「小規模施設では運営要員の確保が難しい」が最も多いが、それ以外の施設では「介護支援者の確保が難しい」が最も多くなっている。(表16(2)-a)

## 問16 (3) 協定締結していない場合、災害時等の取組み

### (3) 協定締結していない場合、災害時等の取組みについて

【図16(3) 協定締結していない場合、災害時等の取組み】



【表16(3)-a 協定締結していない場合、災害時等の取組み(施設別)】

	N	地域住民に災害情報を提供できる	地域での防災訓練に参加している	広域避難所等へ被災住民を誘導できる	備蓄物資の一部を提供できる	ボランティアを育成している	その他	無回答
特別養護老人ホーム	21	38.1	28.6	42.9	23.8	4.8	23.8	9.5
地域密着型特別養護老人ホーム	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
介護老人保健施設	28	32.1	42.9	17.9	17.9	10.7	3.6	17.9
介護療養型医療施設	6	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	33.3
養護老人ホーム	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
軽費老人ホーム	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
生活支援ハウス	1	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認知症高齢者グループホーム	69	23.2	36.2	18.8	27.5	2.9	2.9	20.3
有料老人ホーム	113	41.6	20.4	24.8	23.9	2.7	7.1	16.8
サービス付き高齢者向け住宅	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

全体では、「地域住民に災害情報を提供できる」が33.6%で最も多く、次いで「地域での防災訓練に参加している」が28.6%となっている。(図16(3))

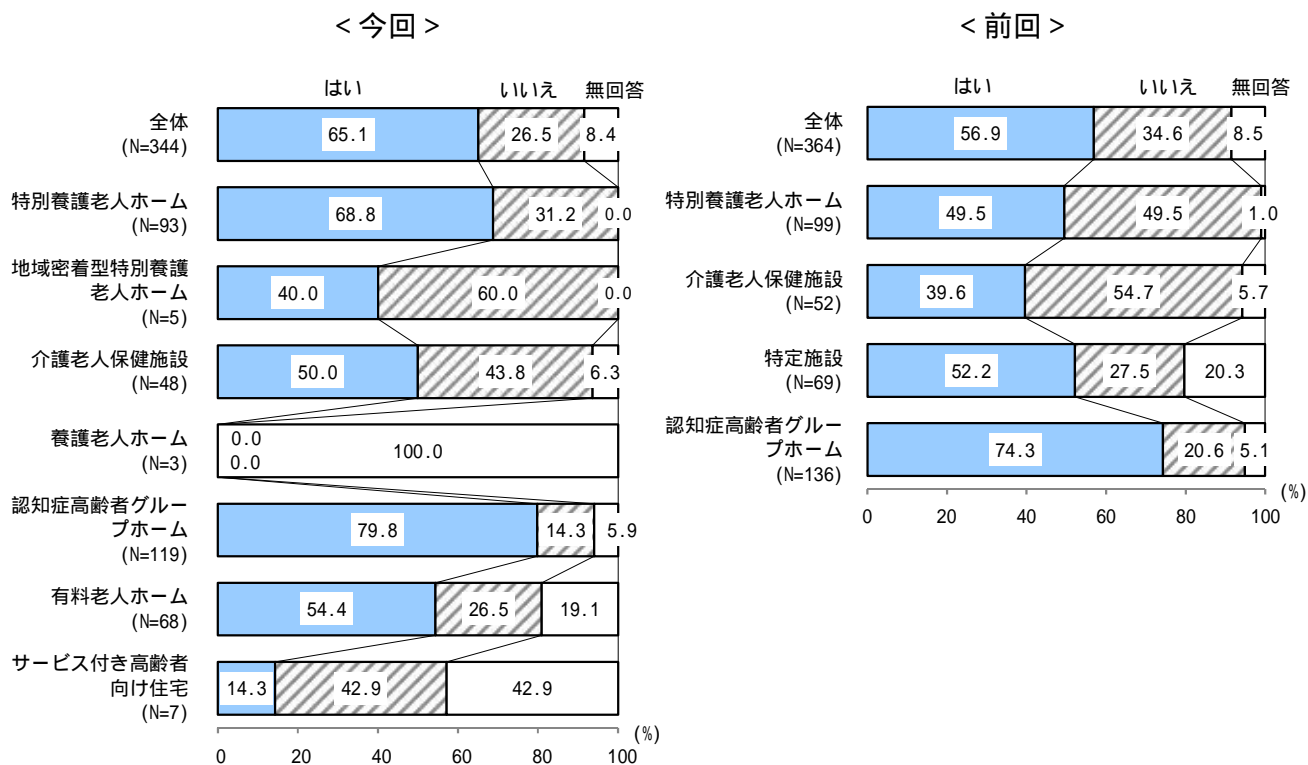
施設別でみると、有料老人ホームでは「地域住民に災害情報を提供できる」が、介護老人保健施設と認知症高齢者グループホームでは「地域での防災訓練に参加している」が最も多くなっている。(表16(3)-a)

## 問17 (1) 看取りの届出状況

《特養、老健、特定施設、認知症高齢者グループホームの施設におたずねします》  
施設における「看取り」の状況についておたずねします。

(1) 看取り介護加算、ターミナルケア加算、医療連携体制加算の届出をされていますか。

【図17(1) 看取りの届出状況(比較)】



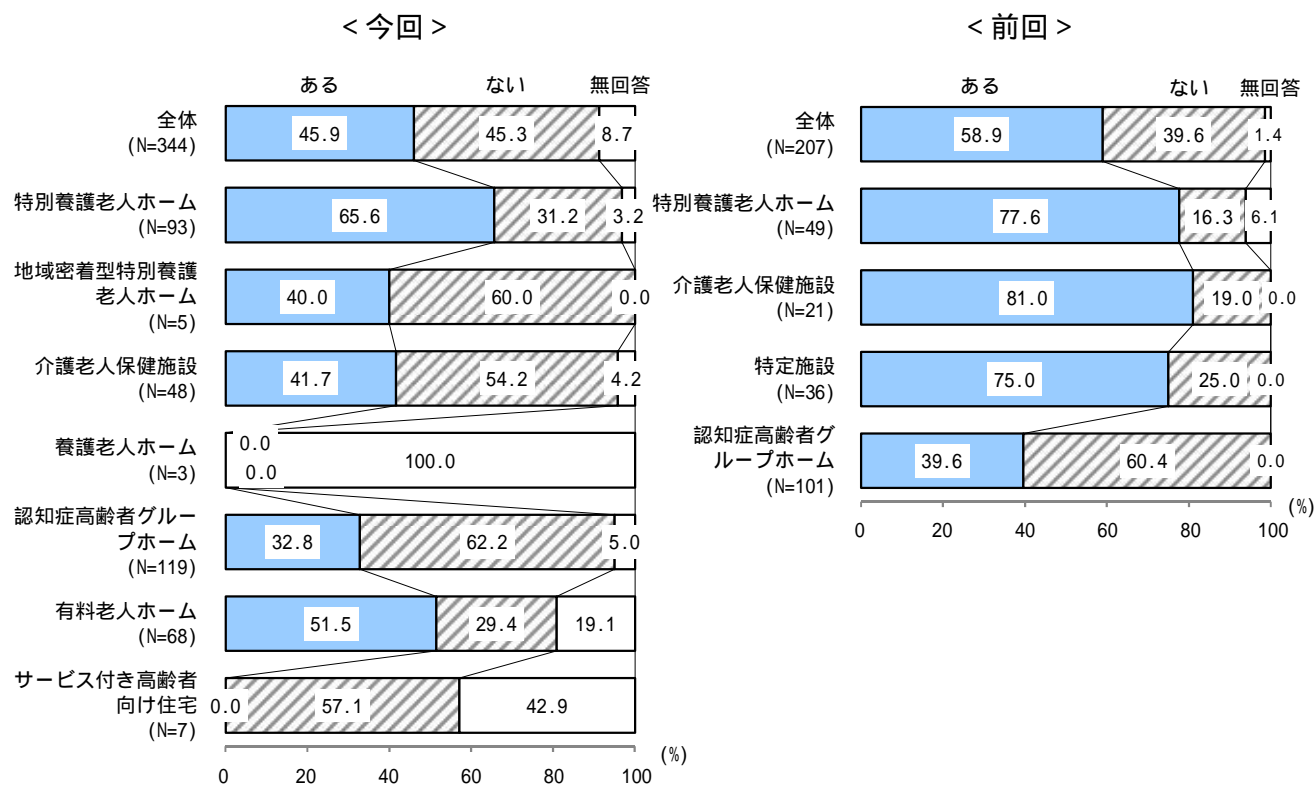
看取り介護加算(ターミナルケア加算)又は医療連携体制加算の届出を出している施設は、全体では6割以上となっている。前回と比較しても割合は高くなっている。

施設別でみると、認知症高齢者グループホームが最も高く、次いで特別養護老人ホームとなっている。(図17(1))

## 問17 (2) 看取りの実績

(2) 昨年度(H27.4~H28.3)において、施設内で「看取り」を行ったことがありますか。

【図17(2) 看取りの実績(比較)】



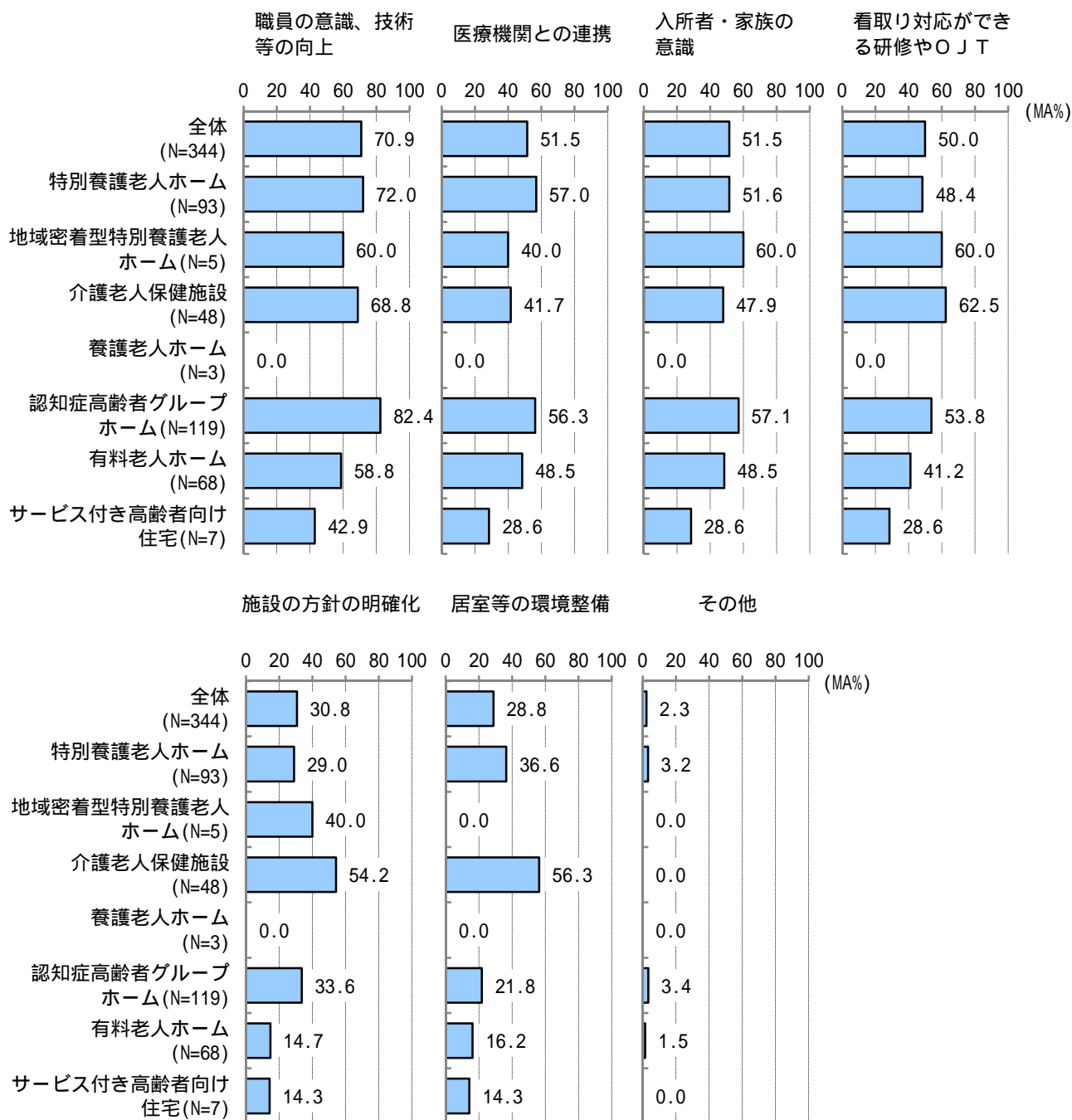
昨年度、「看取り」を行った施設は、全体では45.9%であり、前回より1割強低くなっている。

施設別で見ると、特別養護老人ホームが65.6%で最も割合が高く、次いで有料老人ホームが51.5%となっている。(図17(2))

### 問17 (3) 看取りの課題

(3) 今後の「看取り」を行うにあたっての課題について、あてはまるものすべてに をつけてください。

【図17(3) 看取りの課題(施設別)】



全体では「職員の意識、技術等の向上」が70.9%で最も多くなっている。

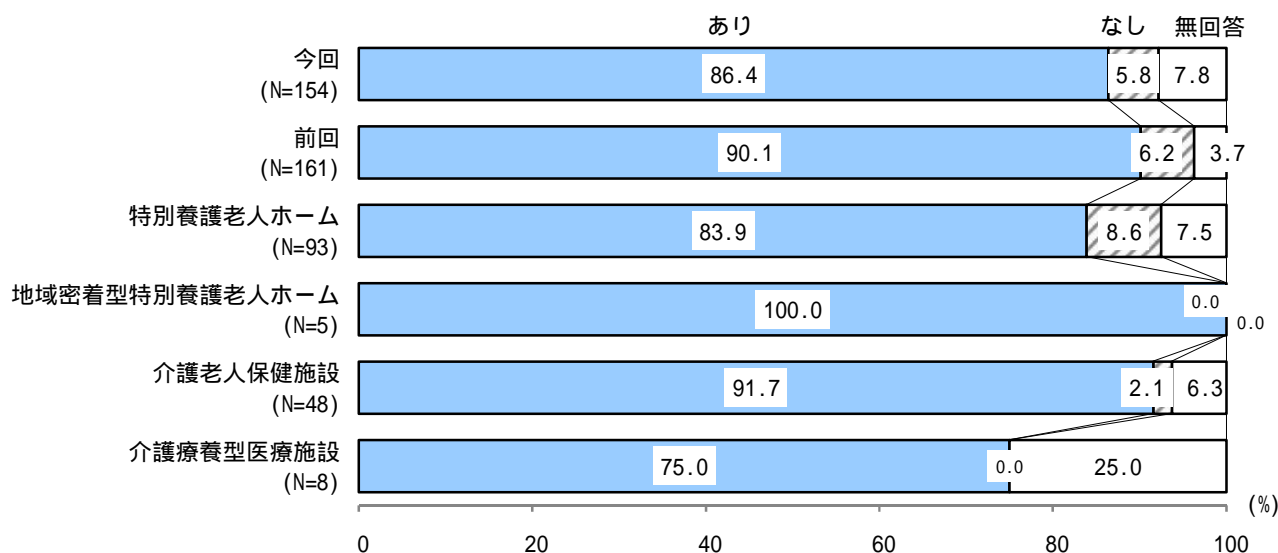
施設別では、認知症高齢者グループホーム、特別養護老人ホームが「職員の意識、技術等の向上」で7割以上と高くなっている。(図17(3))

## 問18 医療的処置等が必要な方の入所有無

《特養、老健、介護療養型の施設におたずねします》

昨年度中（H27.4～H28.3）に医療的処置等が必要な方が入所されていましたか。また、入所されていた場合は、医療的処置等の種類とその人数も記入してください。

【図18 医療的処置等が必要な方の入所有無（施設別）】

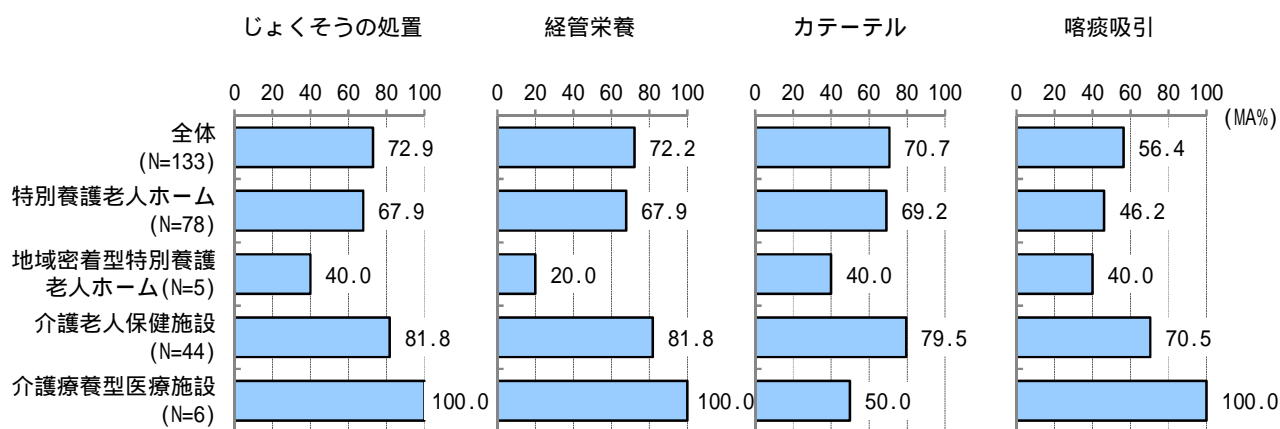


医療的処置が必要な方の入所が「あり」の施設は86.4%で、いずれの施設も7割以上となっている。

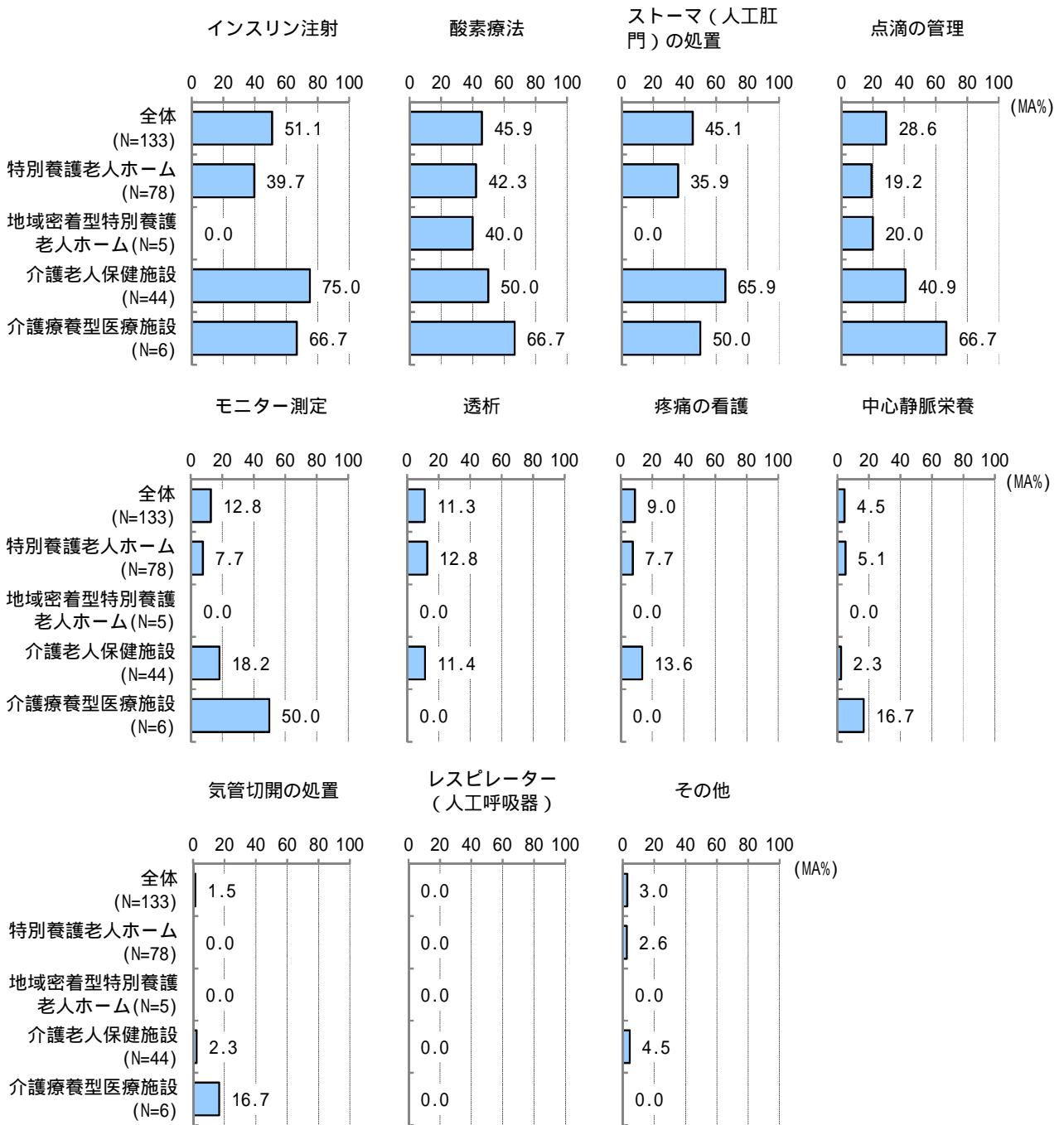
前回調査と比較すると、「あり」が3.7ポイント減少している。（図18）

医療的処置の必要な入所者数の種類別構成をみると、施設全体では「じょくそうの処置」「経管栄養」「カテーテル」がそれぞれ7割台と多くなっている。特別養護老人ホームでは「カテーテル」が69.2%で最も多く、介護老人保健施設では「じょくそうの処置」と「経管栄養」がそれぞれ81.8%で最も多くなっている。（図18-a）

【図18-a 医療的処置の種類と人数（施設別）】



【図18-a 医療的ケアの種類と人数（施設別）】

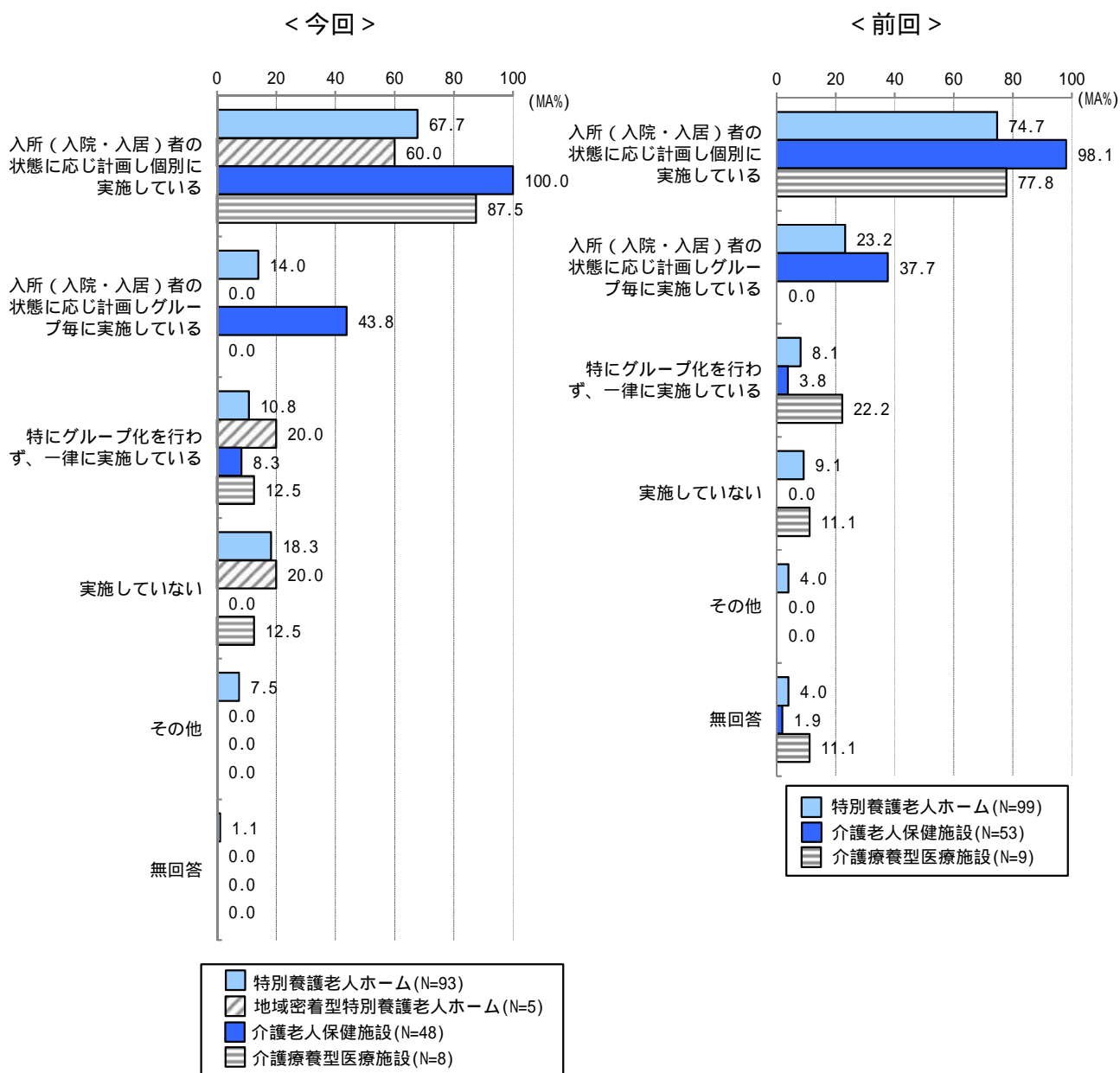


## 問19 リハビリテーションの実施状況

《特養、老健、介護療養型の施設におたずねします》

リハビリテーション（理学療法・作業療法他・言語聴覚療法）の実施状況について、あてはまるものすべてに をつけてください。

【図19 リハビリテーションの実施状況（比較）】



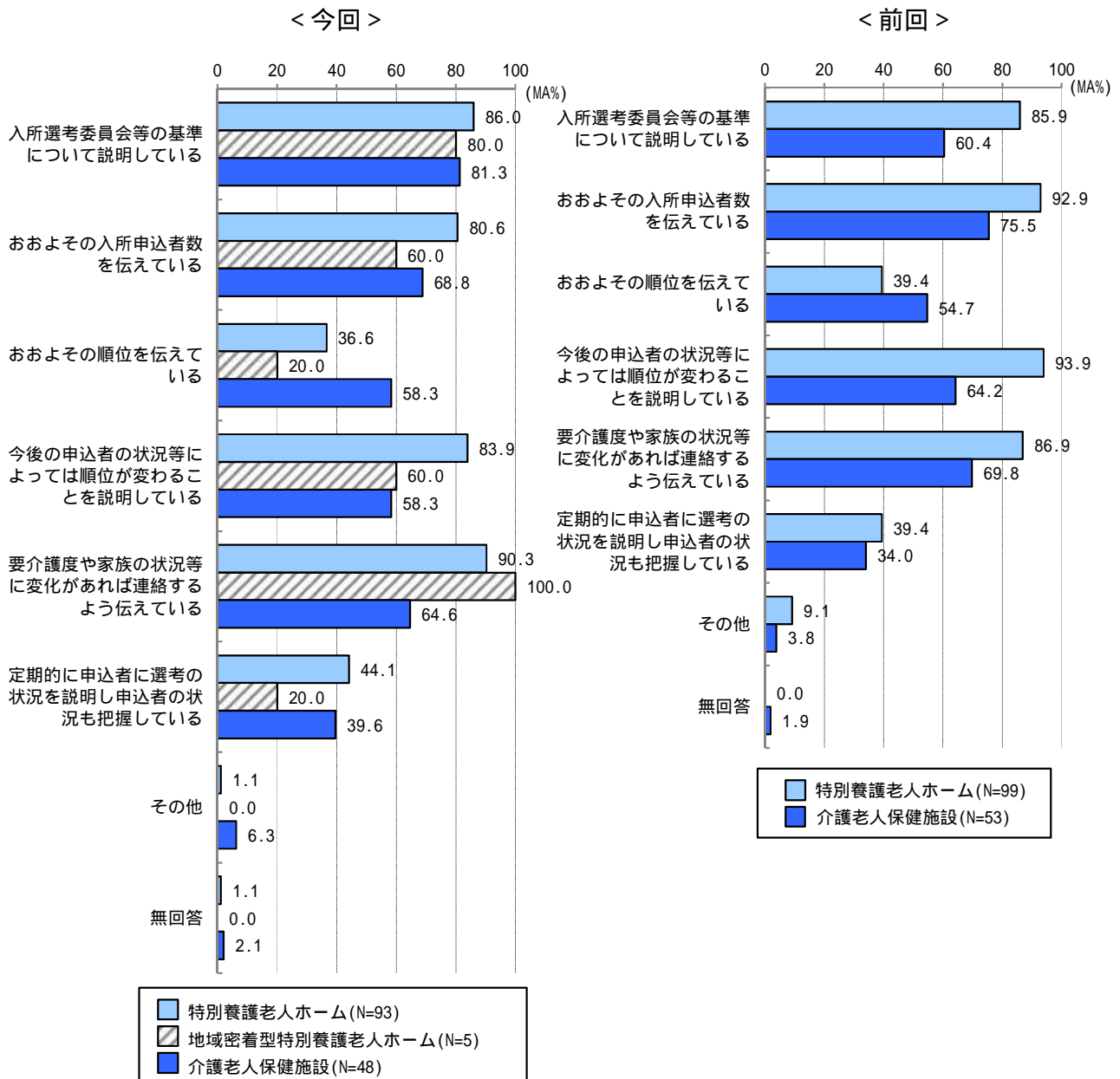
4施設ともに、「入所(入院・入居)者の状態に応じ計画し個別に実施している」が最も多くなっており、介護老人保健施設が100.0%と最も高い。前回と比べて介護療養型医療施設は1割程度高くなっているが、特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設では低くなっている。(図19)



## 問20 入所申込者に対する入所選考に関する説明の状況

《特養、老健の施設におたずねします》  
 入所申込者に対する入所選考に関する説明について、あてはまるものすべてに をつけてください。

【図20 入所申込者に対する入所選考に関する説明の状況（施設別）】



特別養護老人ホームでは、「要介護度や家族の状況等に変化があれば連絡するよう伝えている」が90.3%と最も高く、次いで「入所選考委員会等の基準について説明している」が86.0%、「今後の申込者の状況等によっては順位が変わることを説明している」が83.9%となっている。前回と比較すると、「おおよその入所申込者数を伝えている」、「今後の申込者の状況等によっては順位が変わることを説明している」は特別養護老人ホーム、介護老人保健施設において減少している。(図20)

## 意見・要望等（自由記述）

介護保険制度についてのご意見・ご要望などを具体的に、次の欄に記入してください。

自由記述のあった件数は107件（延124件）であった。

- ・『介護保険制度・認定調査について』に関する意見が50件と最も多く、「要介護認定の基準を見直すべきである」、「介護保険制度を継続・充実させてほしい。介護保険制度の財源確保に努めてほしい」、「制度が分かりづらい・複雑である。制度改正は少なくしてほしい。利用者に不利になる改正はしないでほしい」といった意見があった。
- ・『介護報酬の見直し・人材確保・職員の処遇について』に関する意見が41件あり、「介護報酬を上げてもらわないと施設の運営・職員の処遇に影響が出る、人材確保が困難である。介護報酬が業務内容に見合っていない」、「介護職の社会的地位向上・処遇改善を図り、人材確保策を充実させてほしい」といった意見があった。
- ・『利用者負担について』に関する意見が18件あり、「2割負担は厳しい」、「生活保護受給者・身寄りのない高齢者の支援が困難である」といった意見があった。
- ・『事務処理について』に関する意見が8件あり、「事務処理を簡素化してほしい。書類の煩雑化が実務をおろそかにしている」、「申請書類が多く利用者への説明が難しい」といった意見があった。
- ・『その他』の意見が7件あり、「制度改正の情報等を早く正確に開示してほしい」、「施設運営が厳しい、負担を減らしてほしい」といった意見があった。

福祉人材の確保をはじめ施設の経営に関するご意見・ご要望などを、次の欄に記入してください。

自由記述のあった件数は121件（延129件）であった。

- ・『介護報酬の見直し・人材確保・職員の処遇について』に関する意見が114件と最も多く、「人材確保が困難である。未経験者の採用が増えている・職員の質が低下している」、「介護職の社会的地位向上・処遇改善を図り人材確保策を充実させてほしい。介護職に魅力がない・イメージが悪い。離職率が増えている」、「人員配置基準が厳しい、見直してほしい」といった意見があった。
- ・『施設整備・介護保険制度について』に関する意見が7件あり、「施設整備の補助をしてほしい」といった意見があった。
- ・『その他』の意見が8件あり、「利用者負担が大きいことにより施設の負担も大きくなる」、「事務処理が負担である、煩雑化している」といった意見があった。

大阪市の高齢者施策についてのご意見・ご要望などを、次の欄に記入してください。

自由記述のあった件数は84件（延90件）であった。

- ・『高齢者施策全般・介護保険制度について』に関する意見が40件と最も多く、「大阪市の高齢者施策を充実させて欲しい」、「認知症高齢者施策・研修についての意見」、「人員配置基準が厳しい、見直してほしい」といった意見があった。
- ・『行政全般・市職員の対応、資質について』に関する意見が17件あり、「質問に対して的確に回答できる職員を配置してほしい。相談窓口を充実させてほしい」、「書類提出や手続きを簡素化して欲しい」といった意見があった。
- ・『福祉人材の確保・処遇改善について』に関する意見が14件あり、「福祉人材の確保、処遇改善策を考えてほしい。介護業界のイメージアップを図ってほしい」といった意見があった。
- ・『その他』の意見が19件あり、「生活保護受給をもっと厳しくするべきである」、「低所得者・年金受給者に対する支援を充実させてほしい」といった意見があった。